

# 福祉計画課

課長 中野 嘉勝

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	市民歩こう運動推進事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	市民歩こう運動推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、全的に「市民歩こう運動」を推進・展開し、「歩くこと」による健康の維持増進を図ります。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 ウォーキングマップ等を利用したウォーキングイベントを35地区で実施 ・地区ウォーキングイベント 299回 7,202人
2 10月を推進強化月間とし、歩こう松本！スタンプラリーを展開する等の啓発活動を実施 ・イベント参加者 384人
3 推進地区で健康づくり講座を開催し、ウォーキングを実践していない市民の掘り起しと、歩く習慣の定着化を図る。 ・ウォーキングイベント4地区開催 1,199人参加
4 若い世代の親子を対象としたウォーキングイベントや記録紙の配布 ・地域実践者 大人242人 子ども32人
5 働く世代を対象とした、歩きを取入れた健康づくりを、企業向けに提案

＜現状に対する認識＞
健康の維持増進を図るため、歩くことの必要性を啓発し、イベントの開催等によるきっかけづくりや習慣化のための仕組みづくりを継続します。 働く世代に対する働きかけの一環として、企業に対する歩きを取入れた健康づくりの提案を引き続き行います。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業参加者延人数				
目標値	9,300	9,600	9,900	12,000	12,300
実績値	9,059				
達成度	97.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,640					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,640					
② 人件費(千円)	2,635	人工	人工	人工	人工	人工
正規	1,923	0.25				
嘱託	713	0.25				
合計コスト①+②	5,275					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

地域福祉を推進する団体、更生保護活動をする団体等は、自主財源が乏しいため、行政による財政的支援をし、その活動を支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1. 平成28年度実績額(千円)

(1) 社会福祉協議会	149,521
(2) 民生児童委員協議会	550
(3) 生活福祉資金貸付金利子補給	62
(4) 保護司会	419
(5) そえ木の会	100
＜合計＞	150,652

2. 内容

(1) 社会福祉協議会:  
総務および地域福祉関係の人員費に対する助成

(2) 民生児童委員協議会:  
民生委員・児童委員の活動に対する補助

(3) 生活福祉資金貸付金利子補給:  
生活福祉資金償還に係る利子相当額

(4) 保護司会:  
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える保護司の活動に対する補助

(5) そえ木の会:  
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える協力雇用主活動に対する補助

<現状に対する認識>

地域福祉を推進している社会福祉協議会、社会福祉向上のための民生委員活動、生活困窮時の一時的な貸付、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える更生保護活動等、いずれも福祉の観点から重要な活動を補助するものであり、今後も必要性が高い。

<指標の達成状況>

		総合評価		A				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
① 成果指標(指標名)	目標値							
	実績値							
	達成度							
② 成果指標(指標名)	目標値							
	実績値							
	達成度							

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	150,652				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	150,652				
② 人件費(千円)	1054	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	285	0.1			
合計コスト①+②	151,706				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	民生委員改選事務
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	民生委員改選事務費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
3年に1回の民生委員・児童委員改選にあたり、必要な事務、式典を実施するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 民生委員・児童委員について
(1) 新任期 平成28年12月1日～平成31年11月30日
(2) 定員 537名
(3) 委嘱人数 527名(平成28年12月1日付)
(4) 再任者 237名(再任率45%)
2 主な事業内容
(1) 地区町会連合会長への推薦依頼
(2) 民生委員推薦会の開催
(3) 民生委員・児童委員委嘱状伝達式の開催
(4) 退任民生委員・児童委員感謝状贈呈式の開催
(5) 民生委員・児童委員全体研修会の開催

＜現状に対する認識＞

民生委員・児童委員の職務が多様化・増大化する中、委員のなり手不足が深刻となっている。委員確保のため、委員の負担軽減や年齢要件の見直しの働きかけなどに取り組んでいきたい。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,729				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,729				
② 人件費(千円)	8,545	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	10,274				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	地域福祉推進事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員活動や、地域福祉を推進している団体の活動費を補助するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 事業の実施内容 補助団体の予算規模等により、50千円～2,000千円の定額補助を実施。
2 H28年度実績(4団体)
(1) 松本市民生委員・児童委員協議会 1,676千円
(2) 松本ひまわりの会((公)日本ダウン症協会長野松本支部) 50千円
(3) 松葉会(障害者リハビリサークル) 50千円
(4) 松本市聴覚障害者社会参加支援協会 50千円

＜現状に対する認識＞
地域のきずなづくりに資する地域福祉推進団体は自主財源に乏しく、活動を支援するため、行政による財政的支援が必要である。

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,826				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,826				
② 人件費(千円)	142.5	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	142.5	0.05			
合計コスト①+②	1,969				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(社会福祉大会)
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民による福祉のまちづくりを推進するために、社会福祉事業の功労者等を表彰し、あわせて福祉関係の講演会等を実施する社会福祉大会の開催にあたり補助するもの。 (負担金額の算出方法:事業費の2分の1以内)		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
平成28年度実施内容
1 日時:平成28年7月25日(月)13:30～
2 会場:キッセイ文化ホール
3 主催:松本市、松本市社会福祉協議会、長野県共同募金会松本市支会 後援:松本市教育委員会
4 式典:社会福祉事業特別功労者(23件) 社会福祉事業協助者(2件) 共同募金模範協力者(8件)
5 記念講演

＜現状に対する認識＞
・社会福祉事業の功労者を表彰することは、感謝の意を表し、社会福祉を推進するためにも必要であり、あわせて福祉関係の講演会を実施することは啓発活動につながる。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	500					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	500					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	1,269					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	北部福祉複合施設管理
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	北部福祉複合施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
施設の円滑な維持管理と社会福祉の向上	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

施設利用者の利便性、安全性を考慮した施設の維持管理
管理者 松本市社会福祉協議会
管理方法 業務委託

＜現状に対する認識＞

北部福祉複合施設は開館から18年が経過し、施設及び設備等に経年劣化が見られ、修繕が必要となっている。北部福祉複合施設は、北部保健センター・城東公民館・北部デイサービスなどがあり地域福祉の拠点であることから、修繕を計画的に実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。
--

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,867				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	17,867				
② 人件費(千円)	285	人工		人工	
	855	0.3			
	285	0.1			
合計コスト①+②	18,152				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
-------	--------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約 主な取組み	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		○町会との協働による支えあえる地域づくり	
基本施策(個別目標)	113	ソーシャルキャピタルを活かした健康づくり	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28 ~
地域づくりによる介護予防の研究を目的とする、日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトに参加し、市内の要介護認定を受けていない高齢者に対し、調査を行う。調査結果を分析し、介護保険データとの関連性、他自治体との比較や市内地区間の比較などを行い、本市の健康づくり・介護予防事業の評価・再構築のデータとして活用するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
「健康とくらしの調査」実施 65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者7,000人(35地区×200人)に対して健康状態、生活習慣、要介護リスク、社会関係等の質問を行い、地域づくりによる健康づくりの可能性について調査 回答数 4,481件、回答率 69.7%

＜現状に対する認識＞
今後は、調査結果を分析、庁内関係課と課題を共有し、地区ごとの分析結果を周知するとともに、データの活用方法について検討する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	高齢者のための環境やサービスが充実している「そう思う」「ややそう思う」の				
目標値	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	61.2%
実績値					
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源						
② 人件費(千円)	2307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,307					
前年度比	—					



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば管理運営事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約 主な取組み	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		○市民一人ひとりの健康づくりを支援	
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば管理運営事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H7～
高齢者を中心とする市民が住み慣れた地域において、共に支え合う地域社会の実現に向け、住民参加によって、地域住民の健康、福祉、生きがいの増進を図るための「共助のひろば」とする。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区福祉ひろばに係わる職員雇用、施設管理、業務委託等を行うもの</li> <li>・地区福祉ひろばは、地区住民による福祉の拠点とするため、「地区福祉ひろば事業推進協議会」に委託している。</li> <li>・活動指標は、地区福祉ひろば事業参加者数としている。</li> </ul>

＜現状に対する認識＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設後20年を経過し、施設の老朽化が著しく、設備の耐用年数を超過している。</li> <li>・H26より地域づくりセンターの業務を担うことになり、ひろば職員の負担が増えている。</li> <li>・施設利用者及び支援者の高齢化に伴い、参加者数はこの3年間微減している。</li> </ul>

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地区福祉ひろば事業参加者数				
目標値	288,000	291,000	2,940,000	297,000	300,000
実績値	278,248				
達成度	96.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	75,030				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	75,030				
② 人件費(千円)	46,575	人工	人工	人工	人工
正規	34,605	4.5			
嘱託	11,970	4.2			
合計コスト①+②	121,605				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地区福祉ひろば利用拡大事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	26～
--------	-----

・松本山雅元気育成・健康増進プログラムとして各地区福祉ひろばにおいて、主に高齢者を対象とした健康講座を行う。  
 ・松本山雅の知名度を活かし福祉ひろばの利用拡大を図るとともに、山雅の試合に結び付けることで地域貢献する山雅のファンの拡大を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

・松本山雅に事業を委託年間12か所の地区福祉ひろばを主会場として、市民の健康づくり講座を実施する。  
 ・実施した講座における地区福祉ひろばへの新たな参加者数を活動指標とする。

＜現状に対する認識＞

3年間の実績より、初めてひろば利用した人数250人、男性参加者は254人で、どちらも全体の約25%に達している。福祉ひろばで行われている「ふれあい健康教室」の全体参加者に対する新規参加者の割合は3%、男性参加者の割合は約15%なので、確実に効果をあげている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	山雅健康講座における新たな参加者数				
目標値	100	100	100	100	
実績値	95				
達成度	95.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,580				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,580				
② 人件費(千円)	527	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	143	0.05			
合計コスト①+②	5,107				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域福祉計画推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	31	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域づくりの担い手の育成
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地域福祉計画推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
各地区で策定されている地域福祉計画の推進や見直しを推進するために、第3期地域福祉計画を推進するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定  
平成28年度から32年度までを計画期間とする第3期計画を、松本市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定。地区別の地域福祉(活動)計画を進めるにあたっては、社会福祉協議会の職員が、専門性をもって地域の福祉活動をマネジメントし、市は社会福祉協議会への財政支援および、地区関係職員の意識向上を図ることとしている。
- 地域包括ケアシステム推進事業  
地区ごとの地域包括ケアシステムの構築に向けた方法論を確立するため、推進3地区(第二、岡田、四賀地区)でモデル事業を実施
- 災害時等要援護者支援プランの推進  
要援護者を地域で見守る体制を構築するため、災害時等要援護者登録制度の登録勧奨を行ったほか、登録から5年経過した登録者に対して現況確認調査を実施。また、災害時における福祉用具等物資の供給等に関する協定を(一社)日本福祉用具供給協会と締結

＜現状に対する認識＞

地区別計画に基づく地域福祉活動を支援するためには、市が補助制度等を整えるだけでなく、地域住民とともに地域福祉活動のマネジメントができる専門職員の確保が課題  
地域包括ケアシステムの推進については、モデル事業での取り組みを通じて、他地区での活用が可能なマニュアル等を作成し、医療介護の機能と合わせ、地区ごとの地域包括ケアシステムの構築を進める。  
災害時等要援護者登録制度については、登録勧奨・現況確認などを通じて実態を反映して精度を高めるほか、地域での日常からの支援体制づくりに取り組む。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	高齢者のための環境やサービスが充実していると思う人の割合				
目標値	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	61.2%
実績値					
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,540				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,540				
② 人件費(千円)	28,340	人工	人工	人工	人工
正規	26,915	3.5			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	35,880				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	退職後男性の生きがいづくり事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	31	地域の支え合いを育むまち		主な取組み	○地域づくりの担い手の育成
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	退職後男性の生きがいづくり事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27～
定年退職後男性の閉じこもり予防と、地域の担い手化を目指し、地区福祉ひろばにおいて集団で発声方法と歌を練習し、家族等へ成果を披露する講座を設け、高い目標設定と自主練習を含む講座運営により、地域の担い手となる男性グループを育成する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 フォローアップ講座 平成27年度参加者を対象に市内5カ所のひろばで講座を行い、地域の担い手育成を行う。
2 スポーツボイス大学院講座 市内5カ所のひろばにおいて集団で発声練習と歌の練習を通じてボイストレーニングを行い、発表会で家族等へ成果を披露する講座を開催

＜現状に対する認識＞
フォローアップ講座参加者のうち13名が音楽健康指導士準2級の資格取得をした。今後も更に講座参加者の中から地域の担い手となる者が育成されるため、大学院講座終了後も資格取得者が活躍できる場や体制づくりが必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	男性資格者が地域で行った講座数				
目標値	3	10	18	22	30
実績値					
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,920					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	4,920					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	7,227					
前年度比	—					

# 障害福祉課

課長 青木 宏元

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(遺族会)
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	1 健康とぎすぎなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

戦没者遺族及び戦傷病者の援護の相談に応じ、必要な助言・指導を実施。また、全国戦没者追悼式・県戦没者追悼式等への参加を実施するための活動支援をするもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 遺族会の活動  
各地区町会連合会、奉賛会、地区遺族会共催による戦没者慰霊追悼式の実施。  
戦没者遺族の処遇改善推進、遺族の交流・親睦及び国・県戦没者追悼式への参列。
- 活動費  
会員数 × 550円
- 内容  
会員登録数による活動費

＜現状に対する認識＞

補助金交付により、従来通りの事業が維持できており、戦没者遺族の福祉向上等に寄与しているため、今後も事業の継続を図る。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	675				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	675				
② 人件費(千円)	2,307	人工		人工	
	2,307	0.3			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	2,982				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	自立支援福祉事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	自立支援福祉事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

障害者・児(以下「障害者」という。)が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく自立支援給付サービスを提供し、障害者の福祉の向上及び増進を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供

- 障害福祉サービス
  - 介護給付
    - ①居宅介護 ②重度訪問介護 ③行動援護 ④重度障害者等包括支援 ⑤同行援護 ⑥生活介護 ⑦療養介護 ⑧短期入所 ⑨施設入所支援
  - 訓練等給付
    - ①自立訓練 ②就労移行支援 ③就労継続支援 ④共同生活援助
  - 相談支援
    - ①計画相談支援 ②地域移行支援 ③地域定着支援
- 自立支援医療
- 補装具費支給

＜現状に対する認識＞

障害者手帳交付者は年々増加しており、障害の重複化や重度化とともに高齢化も進んできているため、障害の状態や生活状況に応じた個別支援の更なる充実に努める。  
 障害者が地域で安心して暮らせる(地域移行)ための支援として、市内にグループホームを整備する。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	グループホーム数				
目標値	32	33	34	35	36
実績値	31				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,556,764				
国・県	2,667,572				
利用者負担金					
その他					
一般財源	889,192				
② 人件費(千円)	47,000	人工	人工	人工	人工
正規	38,450	5			
嘱託	8,550	3			
合計コスト①+②	3,603,764				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者地域生活支援事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者地域生活支援事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H28～H32
--------	---------

障害者の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、各種事業を実施するもの。

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 理解促進研修・啓発事業  
障害者等の自立した日常生活及び社会生活に関する理解を深めるための研修及び啓発を行う事業（委託により障害者週間イベントの実施）
  - 自発的活動支援事業  
障害者等、障害者等の家族、地域住民等により自発的に行われる障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにするための活動に対する支援を行う事業  
社会福祉法人信濃友愛会への委託による本人活動支援事業の実施
  - 相談支援事業  
福祉サービスの利用援助、各種支援施策に関する助言、指導等の総合的専門的な相談支援の実施  
松本障害保健福祉圏域構成市村による委託により実施(Wish、ボイス、あるぷ)
  - 意思疎通支援事業  
意思疎通を図ることに支障がある障害者等とその他の者の意思疎通を仲介するもの  
手話通訳者派遣1,400件、要約筆記者派遣249件、手話通訳者設置1名
  - 日常生活用具給付等事業  
日常生活上の便宜を図るため、要件を満たす重度障害者に用具を給付するもの。  
給付件数 5,194件 等

＜現状に対する認識＞

障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大に大きく寄与しており、障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。  
制度の大枠は国の実施要綱で定められているものの、細部については地域の実情に応じて柔軟に実施ができることから、市町村間で格差も生じている。近隣市村において、可能な範囲で事業内容の平準化を検討していく。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	日常生活用具給付事業給付件数					
目標値	4,622	4,758	4,898	5,042	5,190	
実績値	5,194					
達成度	112.4%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	319,986				
国・県	122,124				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	197,862				
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	329,101				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉手当給付事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1 健康とぎずなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	福祉手当給付事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
日常生活に特別の介護を必要とする重度障害者や心身に障害を持っている方を対象に経済的負担の軽減及び福祉の増進を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別障害者手当 20歳以上で、日常生活に常時特別の介護を要する在宅の重度障害者(1級程度の障害重複か同程度以上の者)</li> <li>・福祉手当(経過措置) 昭和61年3月31日現在において20歳以上の福祉手当受給者で障害基礎年金、特別障害者手当の支給を受けられない者</li> <li>・心身障害者福祉手当 20歳以上の在宅障害者で、身障手帳1級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級の者</li> </ul>

＜現状に対する認識＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別障害者手当、福祉手当 施設入所、長期入院により資格を喪失する者が減少。在宅生活に戻り、手当の受給を再開するケースが増加。今後も増加傾向にある。</li> <li>・心身障害者福祉手当 障害者手帳の増加に伴い、手当の支給が増加傾向。特に精神保健福祉手帳の増加が著しい。</li> </ul>

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	216,286					
国・県	74,204					
利用者負担金						
その他						
一般財源	142,082					
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工	
正規	7,690	1				
嘱託	1,425	0.5				
合計コスト①+②	225,401					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	身体障害者福祉事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	身体障害者福祉費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H32
身体障害者の社会参加促進や障害者本人、介護者の心身の負担及び経済的負担軽減のため、各種事業を実施するもの。		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 重度心身障害者(児)タクシー利用料金助成事業  
重度の障害者(児)に対して1乗車700円割引のタクシー券(年間24枚、人工透析患者は48枚)を交付するもの
  - 重度心身障害者(児)自動車燃料費助成事業  
重度の障害者(児)に対して、自動車の燃料費(月額1,400円。年額16,800円を限度)を助成するもの
  - 心身障害者(児)タイムケア事業  
障害児者を家庭において一時的に介護できない場合等に、事前に登録した介護者が時間単位で一時的に預かりするもの
  - 障害者理美容料金助成事業  
常時臥床し、外出困難な重度障害者に対し、理美容料金を助成するもの(1回3,000円、年6回を限度)
  - 身体障害者補助犬飼育費助成事業  
身体障害者補助犬使用者に対し、飼育管理費を助成するもの(月3,000円)
  - 障害者にやさしい住宅改良促進事業  
身体障害者が居住する住宅の居室、トイレ、浴室等を改修する場合に補助金を交付するもの
  - 身体障害者デイサービス事業  
心身障害者福祉センター(市社協指定管理)、北部デイサービスセンターの運営に対し、委託、補助を行うもの 等

＜現状に対する認識＞  
身体障害者の社会参加の促進、生活圏の拡大及び介護者の負担軽減に大きく寄与しており、身体障害者が地域で生活するうえで必要不可欠な事業である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	タクシー券使用枚数				
目標値	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
実績値	15,438				
達成度	90.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	49,601				
国・県	7,563				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	42,038				
② 人件費(千円)	10,540	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	60,141				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	知的障害者福祉事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1 健康とぎずなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	知的障害者福祉費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H28～H32
--------	---------

障害者及び家族の身体的、経済的な負担を軽減するための各種補助事業

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 心身障害者扶養共済掛金補助金  
県の「心身障害者扶養共済制度」加入者のうち、低所得世帯に掛金の30%の額を補助する。
- 障害者・児施設訪問看護サービス  
施設等に通所(園)する医療的ケアを必要とする障害者・児に対する訪問看護師の経費を補助する。

＜現状に対する認識＞

心身障害者扶養共済は親亡き後の障害者の経済的支援の一つとして有効なものであるが、新規加入者の数が減少しているため周知に努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	補助事業利用者				
目標値	12	15	20	25	30
実績値	8				
達成度	66.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	1,733									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,733									
② 人件費(千円)	7,690	人工		人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1								
嘱託	0	0								
合計コスト①+②	9,423									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	障害者虐待防止事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	障害者虐待防止事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H32
<p>障害者虐待の発生防止、発生してしまった時に早期発見・早期対応ができるネットワークの構築を行う。また虐待が発生し障害者の身体・生命に危険を及ぼす危険がある場合に障害者を保護できる居室を確保できるようにしていく。</p>		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 虐待防止ネットワーク協議会開催  
障害者、高齢者の虐待防止に関係する機関・団体を構成メンバーにした協議会を開催し、周知啓発、早期発見、早期対応に向けた体制づくりと連携強化を行う。
  - 虐待防止・早期発見のための周知啓発  
虐待防止ネットワーク協議会構成団体及び市民の方への周知啓発を実施。
  - 障害者虐待防止短期入所事業  
障害者虐待により、障害者を緊急に保護分離しなければいけない時に受入先として指定短期入所施設の居室が確保できない場合がある。そのような時に代替施設を利用するための費用を支弁するもの。
  - 在宅強度行動障害者等短期入所利用支援事業  
家族の介護負担の増加が虐待発生の要因の一つであるため、虐待を未然に防ぐことができるようになるために、短期入所施設が障害者の受入れをしやすくするための支援体制を整備するもの。

＜現状に対する認識＞

相談・通報件数は年間10数件と少ない。障害者虐待に該当する行為であっても、虐待であるとの認識が無いまま支援が行われていることもある。さらなる周知啓発が必要である。あわせて受入をしてくれる障害者福祉サービス事業所が増える環境整備に努める必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	障害者福祉制度のあらし等配布による障害者虐待防止の周知啓発数				
目標値	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,500				
達成度	83.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	113					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	113					
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1				
嘱託	1,425	0.5				
合計コスト①+②	9,228					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎすぎなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

経営基盤の脆弱な旧法サービス事業者等を対象に、日中活動の場の確保と経営安定のために実施するもの。  
また、障害者等に余暇活動の場の提供や余暇の過ごし方に関する相談支援を行い、または重度障害者との外出を支援し、障害者の余暇の充実及び社会参加の促進を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 障害者の日中活動の場を提供する施設の運営を行うにあたり、施設の用地及び建物を民間から賃借している場合に、賃借料の一部を補助するもの。  
補助基準  
施設用地、施設建物 賃借料の1/2 (補助限度額 年額600,000円)

2 障害者等が行うスポーツ、レクリエーション(ハイキング、キャンプ、オリエンテーリング等)、趣味の活動(料理、音楽、絵画、陶芸、カラオケ等)、旅行等の余暇活動の場を提供する事業に対し補助するもの。  
補助額 1団体あたり100,000円(上限額。1団体につき3年を限度とする。)

＜現状に対する認識＞

要綱では、旧法サービス事業者を対象としているため、対象施設が増えることはないが、利用をしている障害者にとっては日中活動をすることに意味があり欠かせない場であるため、今後も継続が必要。  
障害者の余暇活動の場の確保のため、必要不可欠な事業であるが、1団体3年限りという制限のある補助金であることから、本補助金交付終了後の継続した事業実施に対する支援策の検討が必要。

＜指標の達成状況＞

総合評価		B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	余暇活動支援事業参加者数					
目標値	50	50	50	50	50	
実績値	47					
達成度	94.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	420				
国・県	50				
利用者負担金					
その他					
一般財源	370				
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	4,265				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	福祉医療費給付事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1	健康とぎすぎなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	障害者支援医療扶助費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

障害者の医療費自己負担分について給付を行い、障害者の健康保持と福祉の増進を図るものです。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 助成対象  
 身体障害者手帳 1～4級  
 療育手帳 A1、A2、B1  
 精神保健福祉手帳 1～2級
- 助成内容  
 1ヵ月1医療機関あたり受給者負担金(500円)を医療費自己負担額から差し引いた額を給付します。
- 実績(H28年度)  
 (1) 給付件数  
 248, 249件  
 (2) 給付額  
 775, 791, 433円

＜現状に対する認識＞

障害者の方が地域で安心して暮らせる為には、安心して医療機関を受診できる環境を整えることが重要です。  
 本事業は、障害者の方が医療機関を受診する際の負担を軽減するものであり、継続した実施が必要です。

＜指標の達成状況＞

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	775,791				
国・県	253,590				
利用者負担金					
その他					
一般財源	522,201				
② 人件費(千円)	21,080	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	5,700	2			
合計コスト①+②	796,871				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(知的障害者育成会等補助事業)(児童福祉総務費)
-------	-----------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1 健康とぎずなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H32
障害者の社会参加促進や介護者支援のために活動する団体に対して事業に係る運営費の一部を助成する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本市知的障害者育成会補助金 会員数204名。28年度、社会参加促進の機会の場の開催及び知的障害者の福祉向上のための活動を合わせて13回実施。
2 心身障害児・者激励行事補助金 松本市社会福祉協議会が実施し、市は経費の一部を助成。外出機会が少ない障害児者とその家族が参加者間での交流や情報交換、心身のリフレッシュを図っている。 28年度は当事者及びその家族の方32名が参加。

＜現状に対する認識＞
松本市知的障害者育成会は会員数の増加がなかなか困難であるが、知的障害者福祉の向上のための活動を積極的に行っていて、本市の知的障害者福祉の増進に寄与しているので会と協力して会員の増加に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市知的障害者育成会会員数				
目標値	250	255	260	265	270
実績値	204				
達成度	81.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	350					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	350					
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	8,040					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	障害福祉課	課CD	05180000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(特定疾患患者見舞金給付事業)(保健衛生総務費)
-------	-----------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	222	障害者(児)福祉の充実	5つの重点目標	1 健康とぎすぎなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

特定疾患患者の経済的、精神的負担の軽減と福祉の増進を図るため、申請に基づき1年度に1回見舞金として給付するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 対象要件  
 特定疾患医療受給者証、ウイルス肝炎受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の交付を受けている方または、別表に定める疾患(30病種)と診断された方で、本市に1年以上居住する方。(毎年度申請が必要)

2 内容  
 特定疾患患者見舞金として1人年額12,000円を給付。

3 実績(H28年度)  
 (1)給付件数  
 1,224件  
 (2)給付額  
 14,688,000円

＜現状に対する認識＞

原因及び治療法が確立されていない疾病、いわゆる難病患者及びその家族の経済的、精神的負担の軽減を図るために継続した実施が必要。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	14,688				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	14,688				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
	7,690	1			
	0	0			
合計コスト①+②	22,378				
前年度比	—				



# 生活保護課

課長 臼井 正治

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	中国残留邦人生活支援事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H20 ～
--------	-------

中国残留邦人等本人とその配偶者の生活の安定を目的として、生活、医療、住宅、介護支援などを行ったり、地域で安心して暮らせる環境づくりを行い、社会的な自立を促すもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 中国残留邦人生活支援給付金の支給  
中国残留邦人等本人とその配偶者の、老後の生活を安定させることを目的とした給付金を支給した。
- 支援・相談員の配置  
中国語に堪能な支援・相談員を配置し、中国残留邦人等からの日常生活の相談を受けるとともに、医療機関での通訳にあたった。
- 中国残留邦人等生活支援事業  
中国残留邦人等が地域の日本語教室や交流事業に気軽に参加できる仕組みをつくり、地域の一員として普通の暮らしを営んでいくことを目的とした事業を、NPO法人に委託し実施した。

＜現状に対する認識＞

対象者には日本語が話せない高齢者が多いことから、中国語に堪能な支援・相談員の配置を継続し、日常生活の相談に応じる等きめ細かな支援を行っていく必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	46,797				
	国・県	35,389			
	利用者負担金				
	その他	21			
一般財源	11,387				
② 人件費(千円)	1,538	人工		人工	
	正規	1,538	0.2		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	48,335				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	事務管理(法外援護)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
行旅病人や行旅死亡人に対し、必要な支援を行うもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 低所得者援護(行旅人旅費) 市外最寄りの駅までの旅費、食事代として500円を支給した。
2 ボーダーライン援護 (1) 窮迫等で短期の医療を受け、所持金がないため医療費の支払いが困難なホームレス等に対して、その医療費を支給した。 (2) 身元不明の行き倒れ(行旅死亡人)の死亡診断書料を支払った。

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	74				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	74				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	459				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀社会就労センター管理運営
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀社会就労センター管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 授産施設の運営管理  
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 仕事の確保  
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。

＜現状に対する認識＞

施設の老朽化が進んでいる。  
また、高齢の利用者が多く、利用者の過半数が70歳を超えているため、利用者の減少が見込まれることから、今後施設のあり方について検討が必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	4,551			
	利用者負担金	111			
	その他	7,498			
	一般財源	-1,508			
	合計	10,652			
② 人件費(千円)	人工				
	正規	1,154	0.15		
	嘱託	11,400	4		
合計コスト①+②	23,206				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	奈川社会就労センター管理
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	奈川社会就労センター管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

心身上の理由や世帯の事情により就業の困難な者に、就労や技能習得の機会を提供し、その自立助長を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 指定管理者制度の導入  
平成26年度から指定管理者制度を導入した。  
指定管理者 社会福祉法人松本市社会福祉協議会
- 授産施設の運営管理  
一般企業から仕事を受注し、利用者の就労及び技能習得のために必要な機会を提供し、自立助長を図った。
- 仕事の確保  
所長、指導員で企業に出向き、仕事量の確保に努めた。
- 自主事業の実施  
施設の社会参加を目指した農業(試行)を実施した。

<現状に対する認識>

高齢の利用者が多く、利用者の過半数が60歳を超えているため、利用者の確保が課題である。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	3,497			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	14,345			
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	18,611				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	生活保護課	課CD	05210000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	生活保護
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	生活保護費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

生活に困窮する市民(原則)に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 被保護世帯への相談、支援  
個々の実情に即した相談支援を重視し、関係機関及び民生委員等の協力を求め、社会資源の活用を図り、適正な保護の実施と援助に努めた。
- 就労支援プログラムの活用  
自立支援のための就労支援プログラムを策定し、就労支援員2名が公共職業安定所や関係機関等との連携による実情に応じた継続的できめ細やかな就労支援を行い、被保護者世帯の早期自立を支援した。
- 生活保護支援基金の貸付け  
生活保護に該当すると見込まれる者に対して、申請に基づき生活保護費支給までのつなぎ資金として、条例に定めた範囲内で生活資金や住宅資金を貸し付ける基金を運用して貸し付けを行った。

＜現状に対する認識＞

家族形態は核家族が中心となり、また急激な高齢化の進展により、今後も高齢者世帯が増加することが見込まれるため、他の福祉サービス活用等きめ細やかな支援を行っていく必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	被保護者の就職者数				
目標値	100				
実績値	136				
達成度	136.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,339,703				
国・県	2,468,211				
利用者負担金					
その他	32,296				
一般財源	839,196				
② 人件費(千円)	220,885	人工	人工	人工	人工
正規	203,785	26.5			
嘱託	17,100	6			
合計コスト①+②	3,560,588				
前年度比	—				

# 高齡福祉課

課長 上條 昭一

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
-------	--------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	312	地域福祉活動の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

高齢者の健康増進と協調精神を養うとともに、地域の仲間とのふれあいの機会を持って高齢者福祉の向上を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

松本市高齢者クラブ連合会を実施主体に実施される、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした各種事業に係る経費への補助及び、町会単位等の各単位クラブへの活動助成をするもの。

＜現状に対する認識＞

高齢者クラブの解散が増え、市高齢者クラブ連合会から脱退するクラブも増えているため、高齢者クラブの事業の周知をし、加入促進を図る。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	単位クラブ数				
目標値	181	170	170	170	170
実績値	168				
達成度	92.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,722				
国・県	3,566				
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,156				
② 人件費(千円)	434	人工	人工	人工	人工
正規	317	0.04			
嘱託	117	0.04			
合計コスト①+②	9,156				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	積立金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	介護保険特別会計(事業勘定)
予算中事業名	積立金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	12～
--------	-----

介護保険特別会計の決算で生じた歳計剰金を「松本市介護保険給付準備基金条例」に基づき積立てるものです。積立てられた基金は、介護保険の運営の中で歳入不足となる場合に繰入れを実施し、それでも剰余金が生じる場合は時期計画時の財源とし、保険料の抑制につながるものです。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

3年を1期とする「介護保険事業計画」において、3年間の保険給付費とそれを賅うための保険料が決定されています。保険給付費が計画よりも下回った場合や保険料の収納が計画よりも好調な場合は、歳入超過となります。その結果剰余金が生ずるものです。

(単位:円)

	H26	H27	H28
歳計剰余金	168,218,677	31,187,960	494,160,788
準備基金残高	312,571,110	481,498,144	500,611,836

※数値は各年度5月末現在(H28は暫定値)

＜現状に対する認識＞

介護保険事業計画に基づき適正な会計運営に努めます。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	19,114				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	19,114				
② 人件費(千円)	95	人工		人工	
	85	0.011			
	10	0.004			
合計コスト①+②	19,209				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	高齢福祉課	課CD	05250000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	1 介護老人保健施設事業費 2 市債償還元金、利子
-------	------------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	221	高齢者福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	城山介護老人保健施設事業特別会計
予算中事業名	介護老人保健施設事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	12～
保健・医療・福祉サービス機能を備えた介護保険施設として、介護を必要とする高齢者の方への看護・介護サービスや機能訓練などにより、心身の自立と在宅復帰の援助をするものです。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞																							
平成28年度までは、特別会計を設置し、指定管理者委託料金制度により、本市からは委託料と施設整備費(工事費)及び建設費の市債償還費を支出しています。																							
【利用実績】 (単位:人)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">利用者数</td> <td>入所(短期利用含む)</td> <td>40,178</td> <td>40,065</td> <td>39,782</td> </tr> <tr> <td>通所サービス</td> <td>6,167</td> <td>6,174</td> <td>5,829</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用率</td> <td>入所(短期利用含む)</td> <td>92.50%</td> <td>91.99%</td> <td>91.59%</td> </tr> <tr> <td>通所サービス</td> <td>80.35%</td> <td>79.92%</td> <td>75.95%</td> </tr> </tbody> </table>			H26	H27	H28	利用者数	入所(短期利用含む)	40,178	40,065	39,782	通所サービス	6,167	6,174	5,829	利用率	入所(短期利用含む)	92.50%	91.99%	91.59%	通所サービス	80.35%	79.92%	75.95%
		H26	H27	H28																			
利用者数	入所(短期利用含む)	40,178	40,065	39,782																			
	通所サービス	6,167	6,174	5,829																			
利用率	入所(短期利用含む)	92.50%	91.99%	91.59%																			
	通所サービス	80.35%	79.92%	75.95%																			
※数値は各年度3月末現在																							
大部分を占める入所者の利用率は90%と高く施設の必要性の高さがうかがえます。																							

＜現状に対する認識＞
介護老人保健施設は、在宅復帰を目指す施設であり、国は介護保険制度において在宅介護を推奨していることから、重要な役割を担っています。
平成29年度から指定管理者利用料金独立採算制度に移行し、事業を継続していくものです。指定管理者の収支の1/2を納付金として収納し、施設の維持管理に充当していく計画となっています。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	入所利用率				
目標値	90%	90%	90%	90%	90%
実績値	91.59%				
達成度	101.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	692,564,202					
国・県						
利用者負担金						
その他	569,283,989					
一般財源	123,280,213					
② 人件費(千円)	3,614	人工	人工	人工	人工	
正規	3,235	0.42				
嘱託	379	0.13				
合計コスト①+②	692,567,816					
前年度比	—					

# 西部福祉課

課長 忠地 愛男

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	梓川老人福祉センター管理事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	梓川老人福祉センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取組み		○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>	事業計画年度	~
高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
(1) 管理運営
松本市社会福祉協議会に指定管理
(2) 現在の利用状況
ア 貸館関係
民生・児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、梓川ボランティアの会、健康づくりサークル(太極拳、詩吟の会)、子育てサークル
イ 社会福祉協議会関係
地区社協(給食サービス、子育てサロン等)、梓川居宅会議支援事業所、梓川ヘルパーステーション等
2 活動指標
貸館関係
平成28年度 利用者数7,089人

<現状に対する認識>

子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されている現状から、地域の福祉拠点として効果的に利用できるよう名称を変更 「梓川老人福祉センター」 → 「梓川福祉センター」
---

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	4,800	7,000	7,000	7,000	7,000
実績値	7,089				
達成度	147.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,000				
国・県					
利用者負担金	4				
その他					
一般財源	3,996				
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	5,054				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	老人集いの家事業
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	老人集いの家事業費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取組み		○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>	事業計画年度	~33
地域の高齢者の教養の向上と心身の健康の増進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業実施の内容
(1) 島々、橋場、稲核、沢渡4カ所の維持管理
(2) 管理:各地区の老人集いの家運営協議会に指定管理
(3) 管理運営費:指定管理者が負担
(4) 指定管理期間:平成29年度~平成33年度
(5) 指定期間終了後は廃止予定
2 活動指標
集いの家の利用者数
平成28年度 島々 176人
橋場 131人
稲核 330人
沢渡 375人

<現状に対する認識>

安曇地区に限定された施設であり、各施設とも老朽化が進み維持管理経費が嵩むようになっており、利用者が限られ、他地区との公平性を考慮し、平成33年度末に施設廃止の予定。
--

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	1,700	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,012				
達成度	59.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	127				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	127				
② 人件費(千円)	1,823	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	1,950				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	奈川ふれあいの家事業
<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	奈川ふれあいの家事業

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取組み		○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略		①健康・医療産業の創出・育成

<事業の狙い>	事業計画年度	～
山間地域の高齢者の生きがいと健康増進及び在宅独居が困難な高齢者への居住支援により高齢者福祉の向上を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容
(1) 管理運営 松本市社会福祉協議会に指定管理
(2) 施設の概要 ア 居住施設 一人部屋3室 2人部屋1室 イ 共同作業室、台所、便所
2 活動指標 利用者数 平成28年度 居住施設 1人 → 0人 共同作業室 696人

<現状に対する認識>

近年居住施設利用者が減少しているので、関係機関と有効利用について検討が必要。
--

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	900	700	700	700	700
実績値	696				
達成度	77.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	490				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	490				
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	1,544				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	保健センター管理
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	保健福祉センター管理費

部局名	健康福祉部	課名	西部福祉課	課CD	05270000
-----	-------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
保健と福祉の一体的な活動拠点として市民に対し各種保健及び福祉サービスを総合的に行い、地域住民の健康づくりと福祉の推進を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容
安曇・波田の保健福祉センター及び奈川の保健センターの維持管理
※ 施設内で実施されている各種事業(指定管理を含む)
○ 福祉ひろば(福祉計画課)(安曇、奈川、波田)
○ デイサービスセンター(高齢福祉課)(安曇、波田)
○ 障害者就労支援センター(障害福祉課)(波田)
○ 西部保健センター(健康づくり課)(波田)
○ 地域活動支援センター児・者(シェイクハンズひかり:民間)(波田)
2 活動指標
各センターの利用者数
平成28年度 安曇 6,585人
奈川 1,740人
波田 51,137人

＜現状に対する認識＞

地域住民に利用されている施設
施設が老朽化してきており、安心安全に利用を続けるには、計画的な改修が必要となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	25,150	55,000	55,000	55,000	55,000
実績値	59,462				
達成度	236.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	33,212				
国・県					
利用者負担金	71				
その他	11,428				
一般財源	21,713				
② 人件費(千円)	8588	人工	人工	人工	人工
正規	7305.5	0.95			
嘱託	1282.5	0.45			
合計コスト①+②	41,800				
前年度比	—				

# 保險課

課長 米山 順一



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	国民健康保険事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
国民健康保険法に基づき、市民が医療を受けられるように、資格管理や給付、保険税の賦課・徴収を行います。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業内容
(1) 資格の取得・喪失
(2) 被保険者証、高齢受給者証、限度額適用・標準負担額減額認定証等の交付
(3) 保険給付(療養の給付、療養費、出産育児一時金、葬祭費等)
(4) 高額療養費の支給及び貸付
(5) 高額介護合算療養費の支給
(6) 保健事業(データヘルス計画策定、健康フェスティバル等)
(7) 医療費適正化対策事業(レセプト点検、医療費通知等)
(8) 第三者行為求償、不正不当利得徴収
(9) 国民健康保険運営協議会
(10) 国民健康保険税の賦課・徴収
2 活動指標 ( )は前年度
(1) 国保加入世帯数 32,934世帯(34,316人)
(2) 国保加入者数 54,172人(57,553人)
(3) 保険給付費総額 16,998,893千円(17,684,270千円)
(4) 国保税収納額 5,664,426千円(5,114,109千円)

＜現状に対する認識＞

1 一人あたり医療費の増加
国保加入者の高齢化や医療の高度化により、一人あたり医療費が増加しています。
2 保険税収入の確保
保険税の軽減を受ける世帯が半数以上という現状のため、保険給付費に見合う収入の確保が課題です。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国民健康保険税現年度収納率				
目標値	92.00%	92.75%	93.50%	94.25%	95.00%
実績値	91.69%				
達成度	99.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	28,730,186				
国・県	7,269,195				
利用者負担金	5,664,426				
その他	13,620,351				
一般財源	2,176,214				
② 人件費(千円)	322,440	人工	人工	人工	人工
正規	276,840	36			
嘱託	45,600	16			
合計コスト①+②	29,052,626				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業
-------	---------------

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞

会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	27～
--------	-----

糖尿病は進行すると様々な合併症を引き起こすとともに、患者の生活全般に大きな影響を及ぼすため、重症化を予防し、患者のQOLを維持するもの  
また、糖尿病性腎症から透析が必要となった場合、1人年間500万円の医療費がかかると言われおり、国保財政の健全化を保つ面からも、医療費の適正化対策として重要です。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 実施内容  
2型糖尿病性腎症で治療中の人工透析導入前の国民健康保険被保険者に対し、重症化予防を目的とした保健事業を実施しています。  
患者が通院する医療機関と連携し、薬局薬剤師が指導を行うもので、服薬指導・栄養指導・運動指導等の生活習慣や自己管理について6カ月間支援。

2 状況(実績)  
(1) 協力医療機関  
平成27年度 5施設、平成28年度 6施設  
(2) 重症化予防プログラム実施者  
平成27年度 16人、平成28年度 13人

＜現状に対する認識＞

・協力医療機関が限定されており、糖尿病性腎症のハイリスク者が広く事業を受けられる状況ではないことが課題。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	糖尿病性腎症の腎症ステージの維持					
	目標値	13	30	30	30	30
	実績値	13				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	服薬率の向上					
	目標値	99%	99%			
	実績値	97%				
	達成度	98.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,675				
	国・県	3,675			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源				
② 人件費(千円)	2307	人工	人工	人工	人工
	正規	2307	0.3		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	5,982				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	保険課	課CD	05300000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	後発医薬品利用推進事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	国民健康保険(事業勘定)
予算中事業名	後発医薬品利用推進事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	25 ~
国保財政は引き続き厳しい状況にあり、後発医薬品の利用を推進することで、医療費適正化を図ります。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 実施内容 後発医薬品がある先発医薬品の利用者で、その差額が一定額以上ある被保険者へ後発医薬品を利用した場合の自己負担額の差額を通知し、後発医薬品選択の情報提供を行うことで医療費の適正化を図っています。 後発医薬品について周知・啓発する広報等を行うことで、後発医薬品の利用を進めています。
2 状況(実績) (1) 利用差額通知数 平成27年度 2,559件、平成28年度 2,271件 (2) 広報まつもと 平成27年度 1回、平成28年度 1回

＜現状に対する認識＞
平成29年度から通知対象とする利用差額を引下げ(300円以上→100円以上)るとともに、対象となる医薬品分類を拡大(11分類→13分類)し、通知対象を拡充し、後発医薬品の更なる利用推進を図ります。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	効果額実績 平成26年度 7,324千円、平成27年度 3,220千円				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	366					
国・県	247					
利用者負担金						
その他						
一般財源	119					
② 人件費(千円)	85.5	人工	人工	人工	人工	
正規	0					
嘱託	85.5	0.03				
合計コスト①+②	452					
前年度比	—					

# 健康づくり課

課長 塚田 雅宏

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	保健センター管理
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	保健センター管理

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市民の健康相談や各種検診等様々な保健サービスの提供の場、また住民の自主参加による保健活動の場として広く活用し、総合的な健康づくりの拠点となる保健センターを適切に維持管理するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 所管施設・年間利用者数(平成28年度)

- (1) 南部保健センター 22,636人
- (2) 北部保健センター 11,486人
- (3) 中央保健センター 13,934人
- (4) 西部保健センター 12,062人

2 その他所管施設

- (1) 四賀保健センター(健康づくり課)
- (2) 奈川保健センター(西部福祉課)
- (3) 梓川保健センター(梓川支所)
- (4) 四賀保健福祉センター(四賀支所) ※( )は維持管理課

3 主な修繕等

- 中央保健センタータイルカーペット修繕(水漏れに伴う対応) 356,400円
- 中央保健センターガスヒートポンプ室内機フィルター交換 99,360円※
- 中央保健センター診察室衛生設備撤去 48,600円
- 中央保健センター給湯室電気温水器修理 32,400円
- 四賀保健センター換気扇修繕 85,320円、防犯灯修繕 28,512円

※当空調設備は、老朽化により平成24年度13万円、平成25年度100万円の修繕費がかかっており、部品は平成27年度に製造中止のため設備更新が急務である。

＜現状に対する認識＞

保健センター事業の周知により、利用者の拡大を図るとともに、利用しやすい運営を図る。維持管理の面では、空調設備の更新が急務である保健センターもあり、サービス維持のため優先的に対応が必要と考える。当初設置時と保健センターの利用形態等が変わっているため、保健センターのあり方について検討が必要な施設もある。

＜指標の達成状況＞

総合評価					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,672				
国・県					
利用者負担金	136				
その他					
一般財源	5,536				
② 人件費(千円)	6,844	人工	人工	人工	人工
正規	6,844	0.89			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	12,516				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業
-------	-------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
「健康寿命延伸都市・松本」の創造を推進するため、この取り組みを内外に情報発信するとともに、健康寿命延伸に取り組む他都市や企業等との連携・強化を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 世界健康首都会議の開催
  - 参加者 2日間延べ1,500名
  - 海外基調講演 2講演(ドイツフライブルク市・台湾高雄市)
  - 各種セミナー等の開催、企業ブース出展
- 健康寿命延伸都市協議会の運営・拡充
  - 第3回総会・研修会の開催
    - ア 横手市で10月に開催、松本市が事務局として運営
    - イ 11自治体、厚生労働省、スマートライフプロジェクト事務局が参加
  - 協議会への加入要請
    - 「健康寿命をのぼそう!アワード」受賞5自治体へ要請、4自治体加入
- 厚生労働省が進めるスマートライフプロジェクトへの積極的関与
  - サロン(健康施策の取組みに関する意見交換会)への参加 3回
  - 運動・食事・禁煙・健(検)診のカテゴリーに沿った啓発(世界禁煙デー等)
- 企業との連携による情報発信等
  - がん対策推進企業アクション講演会の開催(がん検診啓発)約1,200人

＜現状に対する認識＞

市の健康寿命延伸の施策について、市民に十分に周知していくとともに、取り組みを国内外へ更に広げるため、「健康寿命延伸」のリーディング都市としての矜持をもって引き続き「スマートライフプロジェクト」に積極的に関与し、関連施策を進める。今後も「健康寿命をのぼそう!アワード」を受賞する自治体に健康寿命延伸都市協議会への加入を呼びかけ、情報発信・連携を図っていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	健康寿命延伸都市協議会構成団体数				
目標値	26	32	38	44	50
実績値	24				
達成度	92.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,802				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,802				
② 人件費(千円)	5,998	人工	人工	人工	人工
正規	5,998	0.78			
嘱託	0				
合計コスト①+②	11,800				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名 健康福祉部 課名 健康づくり課 課CD 05350000

事務事業名 負担金

会 計 名 一般会計
予算中事業名 負担金

第10次基本計画の位置付け
市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け
まちづくりの基本目標 1 だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿) 1 健康を大切にするまち
基本施策(個別目標) 111 健康づくりの推進

事業の狙い
事業計画年度 ~
近隣の関係機関で構成されている各協議会等に参加し、松本地域の健康づくりに関する活動の円滑な推進を図る。

- 事業の実施内容及び活動指標(実績値)
1 松本保健所管内保健師研修協議会 137,500円
保健師の資質向上と関係機関及び団体との連絡調整
2 松塩筑献血推進協議会 164,000円
献血対策の推進
構成:管内市村並びに関係団体
事務局:松本保健福祉事務所
3 松本地区健康管理推進会議 200,000円
健康を守る推進活動を地域ぐるみで展開
構成:医療・福祉等の24団体
事務局:JA松本ハイランド
4 三献(献血・献眼・献腎)運動推進協議会 200,000円
平成9年3月13日三献運動推進都市宣言
構成:ライオンズクラブ、医療・福祉等の37団体
5 松塩筑精神保健協議会 204,700円
地域の精神保健福祉活動の円滑な推進を図る
構成:管内3市5村
事務局:松本保健福祉事務所
6 その他会議研修負担金 47,400円
母子保健、がん検診、栄養士、歯科保健研修会負担金

現状に対する認識
地域で取り組まなければならない課題の検討や専門性を高めるための研修など、関係機関との連携による取り組みは必要と考えられます。

指標の達成状況
総合評価
区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
1 成果指標(指標名)
目標値
実績値
達成度
2 成果指標(指標名)
目標値
実績値
達成度

コスト一覧
区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
1 事業費(千円) 953
国・県
利用者負担金
その他
一般財源 953
2 人件費(千円) 1,154 人工
正規 1,154 0.15
嘱託 0
合計コスト①+② 2,107
前年度比 -

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	補助金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
市の検診を行う医師会医療センターの、老朽化が進んだ医療機器をデジタル対応機器に更新することにより、更なる精度向上やがん検診の受診率向上に活用する。 また、各種がん検診の実施方法や検査結果をまとめることにより、確実に適切な検診体制につなげる。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 医療機器等更新事業	
(1) 交付先:松本市歯科医師会 在宅訪問歯科診療機材	1,500,000円
(2) 交付先:松本市医師会 子宮頸がんHPV検査システム 胸部デジタル撮影車 解析付き心電計2台 多項目自動血球分析装置	13,091,200円
2 がん検診評価事業補助金	
過去に市が行った各種がん検診について、年度ごとに検診の実施方法、受診率、要精検率、精検結果等を報告書にまとめ、今後のがん検診に役立てるもの	900,000円

＜現状に対する認識＞

導入計画に基づく機器の更新により、早期発見、早期治療の一端を担い、市民の健康寿命延伸を進める。  
がん検診評価事業を定期的に行い、今後のがん検診に役立てる。

＜指標の達成状況＞

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,491				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,491				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	15,876				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	エイズ・性感染症予防事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	エイズ・性感染症予防事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
医療関係者や関係団体からなる「松本市エイズ・HIV等性感染症予防啓発推進協議会」を中心に、性感染症の知識の普及啓発及び予防活動を実施するもの		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- エイズ・HIV等感染症に関する出前講座  
小中学生や地域住民を対象に出前講座を開催(H28 98回 8,993人受講)
  - 協議会の専門部会による課題の検討  
子ども教育部会における若者の性に関する意識調査の検討(H28 3回)  
施設受け入れ部会における高齢者施設職員向け講演会の実施(H28 2回)
  - エイズ・HIV等感染症に関する周知  
エイズ・HIV等感染症予防啓発街頭キャンペーン  
健康フェスティバルにおける啓発活動

＜現状に対する認識＞

子ども教育部会では、アンケート調査等とおして若者の性に関する状況把握を行い、現代の若者の抱える課題に対応できるように出前講座の内容を検討する。  
施設受け入れ部会では、高齢者施設職員がエイズ・HIV等の性感染症について引き続き理解を深められるように、講演会を継続的に開催していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	出前講座受講者数				
目標値	9,000	9,050	9,100	9,150	9,200
実績値	8993				
達成度	99.9%				
② 成果指標(指標名)	エイズHIV等性感染症予防啓発講演会実施数				
目標値	2	3	3	3	3
実績値	2				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	976				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	976				
② 人件費(千円)	3,950	人工	人工	人工	人工
正規	3,922	0.51			
嘱託	29	0.01			
合計コスト①+②	4,926				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	健康増進対策 ①
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

健康づくり・疾病予防のため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて各種検診及び事業を実施するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 健康増進事業(受診者数)

(1)健康保険未加入者健診	402人
(2)肝炎ウイルス検診	3,028人
(3)骨粗しょう症検診	736人
(4)緑内障検診	258人
(5)胃リスク検診	3,012人
(6)特定保健指導	526人

2 AED設置事業

公共施設へAEDを整備し心臓突然死の減少につなげると共に、多くの市民が救命講習を受講することにより救命措置の理解を深め、実践できる者を増やし市民が安心して過ごせる環境を作る

＜現状に対する認識＞

より多くの検診対象者が情報を入手し、受診に結びつくよう、さらなる周知啓発に努める。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	胃がんリスク検診精密検査受診率					
目標値		82%	84%	86%	88%	
実績値	80.39%					
達成度						
② 成果指標(指標名)	普通救命講習会受講者数					
目標値	7,100	7,300	7,500	7,700	8,000	
実績値	5,778					
達成度	81.4%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	44,375				
国・県	22,561				
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,814				
② 人件費(千円)	27919	人工	人工	人工	人工
正規	25838	3.36			
嘱託	2080.5	0.73			
合計コスト①+②	72,294				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	健康増進対策 ②
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	健康増進対策事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
生涯にわたる口腔ケアの意識づけや歯周疾患の予防をはかるため、第2期松本市健康づくり計画に基づいて、歯科検診および健康教育事業を実施するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 健康増進事業(受診者数)
(1) 歯周疾患検診 1,290人(H28対象者957人 H27対象者333人)
(2) 妊婦歯科検診 691人
(3) はたちのパノラマ健診 288人(H28対象者213人 H27対象者75人)
2 歯科健康教育
歯科衛生士が、歯科疾患の予防、口腔機能の維持・向上に関する適切な情報を提供する。
1,134人 実施

＜現状に対する認識＞
歯科検診事業において、年度途中での検診未受診者への再勧奨の実施を行うことで、さらなる受診率の向上に努める。
歯科健康教育の際にも、歯科検診の重要性を伝えていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歯周疾患検診受診率(%)				
目標値	6.0	10.0	11.0	12.0	13.0
実績値	6.6				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)	歯科健康教育受講者数(人)				
目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
実績値	1,134				
達成度	103.1%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,428				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,428				
② 人件費(千円)	7,198	人工	人工	人工	人工
正規	5,460	0.71			
嘱託	1,739	0.61			
合計コスト①+②	15,626				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	グッドヘルス推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	グッドヘルス推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
生活習慣病予防のポピュレーションアプローチとして、働き盛り世代(概ね20歳から59歳まで)へ基礎知識の普及を行うことにより、対象者が行動変容をおこし、将来的に、医療費削減、健康寿命延伸につながることを目的とする。		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 働く世代生活習慣病予防事業
    - 企業からの申込を受け、生活習慣病予防の観点からメタボリックシンドローム、食行 動、運動、こころの健康、たばこ、歯の健康などについての出前講座を実施する。
    - 商工会議所「ヘルスの日」の待ち時間に出前講座を実施する。
  - 健康相談事業、訪問指導
    - 希望者を対象として、各保健センター、支所・出張所等で、保健師や歯科衛生士等が面接及び電話による相談を行う。
    - 検診の要指導者や介護予防が必要な者等、在宅療養の支援が必要と認められる者を保健師、看護師等が訪問し、生活習慣病の重点疾患の予防、介護予防及び保健・医療・福祉サービスの調整を図る。
  - 職員研修
 職員の専門性を高めるため各種研修会に参加
  - 「健康福祉21市民会議」健康・母子専門員会  
健康づくり計画の策定、施策の推進

＜現状に対する認識＞
本事業の利用企業の内、国保対象者は13%であった。中小企業や国保加入企業に対して、より効果的に事業のPRができるよう、新たに事業周知の場や方法を検討・開拓していく必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 実施回数				
目標値	90	90			
実績値	69				
達成度	76.7%				
② 成果指標(指標名)	商工会議所健康診断・職場で健康講座 講座受講人数				
目標値	2000	2000			
実績値	1813				
達成度	90.7%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,332				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,332				
② 人件費(千円)	59,244	人工	人工	人工	人工
正規	42,372	5.51			
嘱託	16,872	5.92			
合計コスト①+②	64,576				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	環境保健サーベイランス事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保健サーベイランス事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を行い、必要な措置を講ずるもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 国からの委託事業
- 地域集団の健康状態と環境汚染に関する観察を実施し、国へ報告する。(3歳児 1,933人 6歳児 1,963人)

＜現状に対する認識＞

環境省からの委託調査事業である。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県	2,948								
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源									
② 人件費(千円)	正規	2,230	人工		人工		人工		人工	
	嘱託	0	0.29							
合計コスト①+②	5,178									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	健康づくり体制推進事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	健康づくり体制推進事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市内全地区に健康づくり推進員を配置し、関係機関との連携及び保健福祉事業が地域全般にいきわたるよう学習し実践すること。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 健康づくり推進員の活動(892名) (1) 自らの健康のために進んで研修会等に参加し、実践(予防)する。 連合会総会1回 役員会6回 理事会9回 研修会2会 理事視察研修健康づくり教室5回 他 ) (2) 地域保健福祉活動の向上と健康づくりの推進のために、地域ごとの研修会や健康に関する教室を開催する。 (3) 市の保健福祉行政がスムーズに地域全般にゆきわたるため努力する。 (4) 地区の健康を守る担い手として、地域住民からの健康づくりに関する意見を行政に反映するとともに、支援を必要とする方を地区担当保健師や行政に連絡する。
2 各地区事業 地区担当保健師が各地区の事務局として、推進員と共に地区の健康課題等に取り組んでいる。 (地区総会、定例会、学習会、福祉事業等への参加協力 各種検診勧奨 他)

＜現状に対する認識＞
地区組織や行政と連携して、保健福祉活動の啓発及び健康づくりの役割を果たしている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	健康づくり推進員経験者数				
目標値	17,000	17,800	18,600	19,400	20,200
実績値	16,734				
達成度	98.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	13,312					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	13,312					
② 人件費(千円)	29,670	人工	人工	人工	人工	人工
正規	24,454	3.18				
嘱託	5,216	1.83				
合計コスト①+②	42,982					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	まちかど健康相談事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	まちかど健康相談事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28年度～32年度
市民が自分自身の健康に関心を持ち、若い頃からの健康づくりに取り組むきっかけづくり及び健(検)診の受診率向上につなげることを目的に、市民が多く参加するイベントなどで、生活習慣病及び認知症・ロコモティブシンドローム予防等の予防啓発や相談を気軽にできる機会を設ける。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 市民が多く集まるイベントなどで、健康について意識してもらうきっかけとなるよう、短時間でできる体験型の健康チェック、健康相談等を行う。
(1)健康チェック及び健康相談
(2)健(検)診のPR及び申込受付
(3)健康に関する情報配信・常設の健康相談等の紹介等

＜現状に対する認識＞
1 平成29年度より、乳がん・子宮がん検診料金が見直され、受診しやすい料金になったため、若い子育て世代に向けて、周知・啓発に力を入れる。
2 市民にPRできる場を設定するために、より市民が参加する実施会場の絞り込みを実施し、6会場とする。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	実施回数				
目標値	8	6	6	6	6
実績値	8				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	来場者数(延)				
目標値	1100	1000	1000	1000	1000
実績値	1014				
達成度	92.2%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	128				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	128				
② 人件費(千円)	4437.6	人工	人工	人工	人工
正規	4152.6	0.54			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	4,566				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	がん検診推進事業
-------	----------

会 計 名	一般会計
予算中事業名	がん検診推進事業

部局名	健康福祉部	課 名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	-----	--------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本市の死亡原因の1位であるがんによる死亡を減少させるため、各がん検診の受診率の向上に取組み、がんの早期発見・早期治療につなげるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 各がん検診事業(受診者数)
(1)胃がん検診 3,490人
(2)大腸がん検診 18,887人
(3)肺がん検診 15,166人
(4)子宮頸がん検診 8,616人
(5)乳がん検診 9,953人
(6)前立腺がん検診 6,584人
2 無料クーポン事業
毎年定期的に検診を受診するきっかけとするため、各がんの好発年齢または検診きっかけ年齢の者に対して無料検診を実施する(子宮頸がん:21歳、乳がん:41歳、大腸:40歳、肺CT:50歳、60歳の者に対して実施)
3 個別の受診再勧奨
個別の再勧奨をすることで 検診受診を促進する。
4 精密検査未受診者に対する受診再勧奨
要精密検査と判断された者に対して、着実に精密検査を受診するよう勧奨する。

＜現状に対する認識＞

引き続き、個別通知による周知、無料クーポン事業及び受診再勧奨を行うとともに、広報、市ホームページ等での周知・啓発により受診率向上を図る。特に若い世代の受診率を上げる必要がある。 また、精密検査が必要な者が確実に受診に結び付くよう、受診勧奨に取組む。
---

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	がん検診受診者数				
目標値	65,304	67,569	69,902	72,308	74,768
実績値	62,696				
達成度	96.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	248,307				
国・県	1,144				
利用者負担金	6,926				
その他					
一般財源	240,237				
② 人件費(千円)	32,472	人工	人工	人工	人工
正規	27,684	3.6			
嘱託	4,788	1.68			
合計コスト①+②	280,779				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業
-------	--------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	主な取組み		○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略		①健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	受動喫煙防止「松本スタイル」推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
喫煙及び受動喫煙による健康被害の防止のため、基本方針「タバコと向き合う松本スタイル～あたり前の禁煙へ～」に基づき、禁煙及び受動喫煙防止に係る周知・啓発、教育、健康相談・保健指導等に取り組むもの		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 周知・啓発の推進
    - 推進母体「受動喫煙防止対策推進協議会」の運営(会議3回)
    - 啓発キャンペーン等の実施  
(街頭啓発3回・約4,000人、啓発ポスター1,000カ所配布)
    - 禁煙エリア「さわやか空気思いやりエリア」の設定・検証  
(街頭啓発3回、駅周辺路上灰皿の調査、地元商店街との会議1回)
    - 観光客への周知・啓発(駅前での街頭啓発3回)
  - 家庭や職場等での受動喫煙の防止
    - 乳幼児や妊婦・家族への対策の徹底(妊娠届出時の啓発1,908人)
    - 職場での受動喫煙防止の徹底(飲食店等企業への啓発 約1,700人)
    - 禁煙等表示ステッカーの利用促進(ステッカー配布15事業所)
  - 青少年へのたばこの害に関する教育の強化
    - 小中学生(喫煙防止講義33校、ポスター作品募集58名・作品展25日間)
    - 高校生(喫煙防止講義210人)
  - 禁煙へ導く各種体制の充実
    - 禁煙相談の実施等(4保健センターでの相談、肺がん検診時の指導等)
    - 禁煙へ導く具体的な事例紹介等(禁煙成功例聞き取り調査147人)

＜現状に対する認識＞

受動喫煙の機会が多い家庭と企業への対策のため、幼児期からの喫煙防止教育や子育て世代の家庭への啓発、飲食店等企業への出前講座等による啓発を行うとともに、禁煙相談や禁煙外来の受診勧奨等、喫煙者を禁煙へ導く取り組みを進めていく。

- 受動喫煙の場 家庭16.3% 飲食店等企業68.8% (H27松本市)
- 育児期間中の両親喫煙率 父34.6% 母4.2% (H27松本市)

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市民の喫煙率(特定検診受診者)				
目標値	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%
実績値	12.5%				
達成度	104.2%				
② 成果指標(指標名)	禁煙等表示ステッカーの配布施設数				
目標値	90	100	110	120	130
実績値	102				
達成度	113.3%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	607				
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	607				
② 人件費(千円)	正規	5,901	人工	人工	人工	人工
	嘱託	0.76	0.02			
合計コスト①+②	6,508					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	身体活動維持向上事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	身体活動維持向上事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
ロコモティブシンドロームの予防啓発を広く行い、地域で自主的かつ継続的に運動に取り組める仕組みを作るために実施するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 体力づくりサポーター育成講座の実施 35地区の活動につながるよう、全地区で育成講座の実施 実施地区実績(H25 8地区 H26 8地区 H27 8地区 H28 11地区) 登録者数(H28 421人)
2 体力づくりサポーター地区活動支援 各地区での地区集会の実施(H28 107回) 全体研修会の実施(H28 2回) 「四肢筋伝道師」として、ふれあい健康教室で体力測定の補助と、運動の伝達(H28 24地区)
3 体力健診の実施 40歳以上市民に対し、身近な場所で体力測定を実施し、運動を行うきっかけづくりを行う。(H28 90回実施 参加延数 1,572人)

＜現状に対する認識＞
35地区各地の体力づくりサポーターが地区活動が円滑に行われ、自主的で継続した取り組みとなるような、仕組みづくりを強化する。 体力健診の対象者をできるだけ若い層となるよう、実施方法の検討を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	体力づくりサポーター登録者数				
目標値	454	525	525	525	525
実績値	421				
達成度	92.7%				
② 成果指標(指標名)	体力健診実施回数				
目標値	90	60			
実績値	90				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,586				
国・県					
利用者負担金					
その他	653				
一般財源	1,933				
② 人件費(千円)	24,011	人工	人工	人工	人工
正規	23,070	3			
嘱託	941	0.33			
合計コスト①+②	26,597				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	こどもの生活習慣改善事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	こどもの生活習慣改善事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28年度～32年度
こどもの時期から、望ましい運動習慣及び食習慣の重要性を意識づけることにより、将来の生活習慣病を予防するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 学校出前講座(「生活習慣」・「運動」・「栄養」等の保健指導プログラムの実施  
対象 主に小学校4年生・中学2年生・保護者  
(平成28年 小学校108回 5901人 中学校45回 2244人)
- 2 親子運動あそびプログラムの実施  
親子で、運動遊び等を通じ、からだを動かす楽しさを体験し、運動習慣の定着を図る。  
対象 年中～小2  
(平成28年 会場 松本大学 3回実施 参加数延べ 子ども124人 保護者99人)
- 3 啓発・情報提供事業  
保育園(年中・年長)・小4・中2に、意識啓発・情報提供を目的として年3回健康情報通信配布

＜現状に対する認識＞

幼児期からの、運動あそび・食育の推進等の家族ぐるみでの取り組みが、家族の生活習慣改善さらには長い目で見ての、健康寿命延伸につながるという視点からも、親子に対する取り組み・啓発が大切である。こどもの現在・未来の健康づくりのための施策について、保育園、学校及び地域で連携した取り組みが必要。関係機関と連携し、役割分担を精査しながら、事業内容や実施方法を検討する必要がある。

H23年～25年に実施したモデル事業より、以前より小4中2に実施していた血液検査の中にヘモグロビンA1c・尿酸値の2項目を追加。(血液検査は学校教育課で実施)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	ヘモグロビンA1cの高値者の割合(H23・24年モデル時の割合17.6%)				
目標値		7.2	7.2	7.2	7.2
実績値	7.2				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	774				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	774				
② 人件費(千円)	15,817	人工	人工	人工	人工
正規	14,534	1.89			
嘱託	1,283	0.45			
合計コスト①+②	16,591				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	食育推進事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	食育推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	平成28年度～平成32年度
生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸につなげるため、市民一人ひとりがそれぞれに合った食育を楽しく実践できるよう、第2期食育推進計画に基づき事業を実施するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 食生活改善推進員養成事業 地域で食生活改善に関するボランティア活動をする人を増やすため、市内2会場において食生活改善推進員養成教室を実施。1コース8回の教室とし、6回以上の出席で修了となり、食生活改善推進員になる資格が得られる。
2 食生活改善推進員と共催の食生活改善栄養指導事業 望ましい食生活を実践する人を増やすため、食生活改善推進員と協働で、健康づくり推進員や市民を対象に、栄養講話、調理実習を実施する。
3 情報提供事業 食生活改善に関する情報を広く市民に提供するため、庁内各課と連携して、市の公式ホームページや様々な事業を活用し、食に関する情報を提供する。

＜現状に対する認識＞
1 食生活改善のボランティアである食生活改善推進員が減少している。食生活改善推進員になる人を増やすため、受講時の勧誘及び教室内容の工夫に努める。
2 平成29年度に、第3期食育推進計画を策定し、食育を推進する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	食生活改善推進協議会の新規入会者数				
目標値	25	30	30	30	30
実績値	21				
達成度	84.0%				
② 成果指標(指標名)	食生活改善栄養指導教室の参加者満足度(生活の参考になった率)				
目標値	95.00%	95%	95%	95%	95%
実績値	96.90%				
達成度	102.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,480				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,480				
② 人件費(千円)	16,713	人工	人工	人工	人工
正規	12,381	1.61			
嘱託	4,332	1.52			
合計コスト①+②	18,193				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	自殺予防対策事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康とぎずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	自殺予防対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

自殺予防に関して、市民の啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り体制の構築等、総合的な対策を推進する

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 普及・啓発・教育の推進  
 広報の掲載(9月)  
 自殺予防街頭キャンペーン(3月)  
 青少年への教育・啓発  
 ・市内中学2年生へのパンフレットの配布  
 ・市内中学3年生と高校3年生に配布する新生活応援レシピ集にコラム掲載
- 相談・支援体制の充実  
 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設  
 平成28年度実人数77件
- 気づき・見守る地域づくり  
 地域支援者養成講座:民生児童委員、健康づくり推進員等へ情報提供  
 平成28年度 2043人
- 関係団体との連携  
 自殺予防対策推進協議会の開催

＜現状に対する認識＞

国のモデル市町村計画策定事業を受け、平成29年度に第2期自殺予防対策推進計画の策定を行うことにより、今後より一層若年者及び働き盛り世代への対応の強化を進める。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地域支援者の養成					
	目標値	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
	実績値	2,043				
	達成度	102.2%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,831				
	国・県	4,501			
	利用者負担金	0			
	その他	0			
	一般財源	4,330			
② 人件費(千円)	19,952	人工	人工	人工	人工
	正規	19,610	2.55		
	嘱託	342	0.12		
合計コスト①+②	28,783				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	認知症予防対策事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○生活習慣病の予防と重症化予防の支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	認知症予防対策事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28年度～32年度
若いときからの生活習慣が、将来の認知症予防につながることを幅広く啓発する。 市民および市内在勤者が、生活習慣病と認知症の関係に気づき、予防のための行動を継続して行うことができるきっかけとする。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 生活習慣病と認知症の関係の啓発を行う。  
 (1) パンフレットを用いた啓発(地区事業、課事業、庁内事業等での対面での周知)  
 (2) 連携企業従業員への周知・啓発  
 (3) 連携企業事業参加者、施設利用者への配布  
 (4) ホームページ、イクジィへの掲載
- 生活習慣病と認知症の関係を知る・学ぶことで、自身の健康目標を立て、健康クイズに答えて応募できる。  
 (平成28年度 参加者数3,853名)
- より若い世代、子育て世代、働き盛り世代にターゲットをあて、在勤者も含め、健康無関心層への周知啓発のため、協賛企業等からの景品提供等により抽選でインセンティブを付与する。  
 平成28年度 参加者のうち20～50代の割合 39.8%

＜現状に対する認識＞

- 生活習慣病と認知症との関連を知るとい底辺の拡大は継続。ステップを上がり、健康目標を立て目標に向かった行動を導き出すポイントを獲得する方法を設定する。努力に応じインセンティブを付与する。
- 働き盛り世代、子育て世代への周知・啓発に力を入れる。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	参加者数				
目標値	2,500	3,800	3,900	4,000	4,100
実績値	3,853				
達成度	154.1%				
② 成果指標(指標名)	参加者のうち、若い世代(20～50代)の割合				
目標値	35%	40%	42%	44%	46%
実績値	39.8%				
達成度	113.7%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,047				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,047				
② 人件費(千円)	5,449	人工	人工	人工	人工
正規	5,306	0.69			
嘱託	143	0.05			
合計コスト①+②	6,496				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子健康対策 ①
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 母子健康手帳の交付  
妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を記録するものとして、妊娠届の際に交付。  
併せて、保健師が全数面接を行い相談・支援を実施。  
(母子手帳交付者数1,908人)
- 新生児・乳幼児訪問  
児の心身の健全な発育と保護者の育児支援を行うため、訪問により身体測定、発達観察、育児・健康相談を実施。  
(訪問数2,304件)
- 母子関係機関との連携  
健全な子育てを支援するため、関係機関との情報共有、ケース検討等実施。(連携数503件)

<現状に対する認識>

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	子育てに負担を感じる母親の割合(%) ※3歳児健診時調査				
目標値	12	11	10	9	8
実績値	13.2				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,876				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,876				
② 人件費(千円)	32,036	人工	人工	人工	人工
正規	26,992	3.51			
嘱託	5,045	1.77			
合計コスト①+②	36,912				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子健康対策 ②
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
<p>安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。(疾病・障害等の早期発見や成長・発達の確認、育児相談を通じ、母子に寄り添った育児支援を行うもの。さらに、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を図るもの。)</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 乳児健診(4か月、10か月)  
問診、身体測定、発達観察、医師診察、育児相談を実施するもの。  
4か月:76回 2,037人(97.4%) 10か月:76回 1,966人(97.5%)
- 幼児健診(1歳6か月、3歳)  
問診、身体測定、発達観察、医師診察、歯科診察、育児相談(3歳のみ尿検査、視聴覚検査、絵本読み聞かせ)を実施するもの。実施回数と受診者数(受診率) 1歳6か月:76回 2,029人(97.0%) 10か月:76回 2,028人(96.4%)
- 二次健診(小児神経科医師による個別相談)  
乳幼児健診や健康相談で、神経、精神発達面における経過観察が必要と思われる児のフォローと育児支援を行うもの。  
30回 受診者延数142人
- にこにこ相談(心理相談)  
育児に関する悩みや不安を解決の方向に導き、安心して子育てができるための援助を行うもの。52回 受診者延数97人
- すくすく相談(言語)  
乳幼児健診や健康相談で、言語発達面における経過観察が必要と思われる児のフォローと 育児支援を行うもの。  
30回 受診者延数116人
- すくすく相談(発達)  
乳幼児健診や健康相談で発達面における経過観察が必要と思われる児のフォローと 育児支援を行うもの。  
40回 受診者延数153人
- こころの相談(精神科医師による個別相談)  
適切な精神科医医療やサポートが受けられるよう、精神科医師による相談及び治療の見極め等を行い、こころの健康が保たれるように支援するもの。12回 受診者延数32人
- 幼児歯科管理登録事業 歯科医師会に事業委託し、希望者の口腔内状況を管理し、児の健康増進とむし歯予防をおこなうもの。573名登録
- 私立保育園歯科集団指導 私立保育園における健康増進とむし歯予防を行うもの。12園実施

＜現状に対する認識＞

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。  
(子どもの成長発達の経過を追いながら、その子とその親にあった育児支援が行えるよう、体制の充実を図ります。また、幼児期のむし歯予防を通じ、生涯にわたる健康増進と歯周疾患予防を行います。)

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	33,621				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	33,621				
② 人件費(千円)	55,036	人工	人工	人工	人工
正規	44,833	5.83			
嘱託	10,203	3.58			
合計コスト①+②	88,657				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	母子健康対策 ③
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	母子健康対策費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
妊娠期から育児に関する不安の解消のため適切な情報提供や、母子の愛着形成を促すことにより、健やかな子育てを支援する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 両親学級 妊娠期から母性、父性をはぐみ子育ての孤立化を予防する 4回コース×6回 (産後教室 6回含む) 2回コース×12回 48回 参加者数 1,334人
2 離乳食教室(初期 中期) 離乳食の適切な情報提供と育児支援 初期(5～7ヶ月)10回×4保健センター 40回 参加者数 822人 中期(7～8ヶ月) 32回 参加者数593人
3 1歳児教室 一歳児における生活習慣の基礎づくり 31回 参加者数580人
4 子育て出前講座 乳幼児期の成長発達における適切な情報提供と育児支援 54回 参加者数1,348人
5 ちびっ子ザウルス 多胎児を育てているハイリスク妊婦や保護者の子育て不安の解消と多胎児親子の交流 年6回 参加者数101人
6 どんぐり教室 タッチケアを通じ早期からの母子愛着形成を促し虐待を予防する 23回×4保健センター 92回 参加者延数 638人
7 地区担当保健師による地域の子育て支援 75回 1,670人

＜現状に対する認識＞

少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。(妊娠期から子育て期までの情報提供、親子の交流の場を提供し子育て支援を行ないます。)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	育児不安解消率(両親学級)(%)				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	99.3				
達成度	99.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,551				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,551				
② 人件費(千円)	25,269	人工	人工	人工	人工
正規	20,994	2.73			
嘱託	4,275	1.5			
合計コスト①+②	30,820				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	少子化対策事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	少子化対策事業

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち		主な取組み	○松本地域で協力した出産体制を維持
基本施策(個別目標)	232	出産・子育て環境の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
妊娠の希望をかなえ、安心して妊娠・出産でき、子育てに喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができる環境づくりをめざすもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 育児ママヘルプサービス  
育児不安等、育児困難者支援のため、助産師が訪問し、育児支援や相談を実施するもの。(利用者数 19人)
- 産後ケア事業  
育児不安等、育児困難者のため、入院やデイケアにより産後の健康管理と育児指導、乳房管理等を実施するもの。(利用者数 デイケア4人 宿泊59人)
- 母子保健コーディネーター配置事業  
子育てを包括的に支援するため、子ども子育て安心ルームを設置し、母子保健コーディネーターを配置し、子育てコンシェルジュと連携することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築するもの。(健康づくり課に専任で1名配置)
- 不妊・不育症治療費助成事業  
不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部(補助率3分の2、上限30万円)を助成金として交付するもの。(助成者数 不妊305人 不育症2人)

＜現状に対する認識＞

少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図ります。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
① 成果指標(指標名)	子育てに負担を感じる母親の割合(%) ※3歳児健診時調査				
目標値	12	11	10	9	8
実績値	13.2				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)	合計特殊出生率				
目標値	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
実績値	1.5				
達成度	96.2%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	42,529				
国・県	3,090				
利用者負担金	80				
その他					
一般財源	39,359				
② 人件費(千円)	13,675	人工	人工	人工	人工
正規	11,766	1.53			
嘱託	1,910	0.67			
合計コスト①+②	56,204				
前年度比	—				



事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	各種予防接種事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	各種予防接種事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
予防接種法に基づく定期予防接種の実施、及び任意予防接種への本市独自の助成制度をとおして、感染症の発生及びまん延の防止を図る。		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 定期予防接種事業  
 予防接種法に基づき対象者個人に通知を発送し、県内医療機関における個別接種を行う。(H28接種率 93.6%)  
 里帰り出産等で県外で接種した際の償還払い制度(H28から開始)を推進する。  
 (H28実施数 46件)
  - 任意予防接種事業  
 任意予防接種(おたふくかぜ、B型肝炎、高齢者肺炎球菌)のワクチン接種費用の一部助成を行い、対象者のワクチン接種を促す。  
 (H28接種率 おたふく90.7% B肝 41.2%)  
 (H28接種数 高齢者肺炎球菌 132件)
  - 新型インフルエンザ等対策  
 松本市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ発生時における市内の医療体制や予防接種体制を検討し、新型インフルエンザ等対策を推進する。(H28 住民接種に関する行動指針作成)

＜現状に対する認識＞

子どもの定期予防接種率はほぼ横ばい状態で、現在感染症の蔓延はない。任意予防接種については29年度からB型肝炎ワクチンの助成対象を未就学児まで拡大したことから、より多くの子どもたちがワクチン接種できるように周知啓発を図っていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	子どもの定期予防接種率(定期全体)				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	93.60%				
達成度	93.6%				
② 成果指標(指標名)	子どもの任意予防接種率(B型肝炎)				
目標値	50%	40%	40%	40%	40%
実績値	41.20%				
達成度	82.4%				

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	654,134				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	654,134				
② 人件費(千円)	26,031	人工	人工	人工	人工
正規	18,764	2.44			
嘱託	7,268	2.55			
合計コスト①+②	680,165				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	健康福祉部	課名	健康づくり課	課CD	05350000
-----	-------	----	--------	-----	----------

事務事業名	介護予防普及啓発事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康とぎずなづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	介護保険(事業勘定)
予算中事業名	介護予防普及啓発事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
介護予防への関心を高めるため、身近な地域で講座を開催し、より多くの市民に介護予防に関する知識を情報を提供する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 介護予防講座の実施 地区の実情に合わせ、地区担当保健師が地区関係職員と共に計画実施内容は、脳卒中予防および認知症予防・運動機能向上・口腔機能改善・栄養改善・こころの健康等介護予防に関わるいずれかの集団講話・集団実技  講座開催数 110回 講座参加延数 2,421人
2 ひざ痛予防講座の実施 介護予防講座のうち、継続した取り組みへとつなげるために、12回コースの運動講座を実施。 ひざ痛予防の運動を主として行い、講座終了後は自主的に実施できるよう指導  講座開催数 4講座(×12回= 48回) 講座参加延数 692人

＜現状に対する認識＞

開催数・参加者数ともに目標を上回っているが、介護予防への取組みが継続したものになるように、内容等を工夫していく必要がある。 また、若いころから取り組めるように、対象者や内容を見直していく。(H30～)
---

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	介護予防講座開催数				
目標値	118				
実績値	158				
達成度	133.9%				
② 成果指標(指標名)	介護予防講座参加者数(人)				
目標値	3,410				
実績値	3,113				
達成度	91.3%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,576				
国・県	591				
利用者負担金	0				
その他	788				
一般財源	197				
② 人件費(千円)	20,850	人工	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5			
嘱託	1,625	0.57			
合計コスト①+②	22,426				
前年度比	—				